

(連用修飾的) 複文：ハンガリー語¹

大島 一

1. コンサルタント情報

ハンガリー語対応例文の作例は大島が、それをハンガリー語話者コンサルタントに確認した上で記載した。以下、コンサルタントの情報である。

氏名：BILIK Éva (ビリク・エーヴァ)²

性別：女性

生年月日：1971年3月13日

出身地：ハンガリー，ブダペスト (Hungary, Budapest)

母語：ハンガリー語ブダペスト方言

2. 調査結果

(1) 彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる。

《副動詞》 olvasva 「読みながら」

Mindig újság-ot olvas-va esz-ik.

いつも 新聞-ACC 読む-CVB 食べる-3SG.INDEF³

「(彼は) いつも新聞を読みながら食事する」

¹ ハンガリー語は中央ヨーロッパのハンガリーおよび周辺国で話されている言語（ウラル語族フィン・ウゴル語派に属する）であり，話者数は約1,500万人である。その言語的特徴は膠着語，後置詞言語であり，豊富な動詞活用を持つ。特に，他動詞における対格目的語が定まったものかそうでないかにより活用が変わる不定／定活用（例文グロスでは INDEF/DEF）はハンガリー語の大きな特徴の一つである。

² ハンガリー語は日本語と同じく，「姓・名」の順番で表記する。

³ グロスに使用する略号は基本的に Leipzig Grossing Rules

(<https://www.eva.mpg.de/lingua/pdf/LGR08.02.05.pdf>) に従った。その中に記載のないものは以下。ALL: allative 「向格」, ILL: illative 「入格」, PCVB: perfective converb 「完了副動詞」, SUP: superlative 「上格」, SUB: sublative 「着格」

ハンガリー語の副動詞 *-va/-ve*⁴は動詞（他動詞・自動詞とも）の語幹に付加することで「～しながら」という意味で主動詞との同時性を表現する。

(2) (私は) 昨日は 10 時に家に帰って、少しテレビを見て (から)、寝ました。

《定形動詞》 *hazajöttem* 「帰宅した」、*tévét néztem* 「テレビを見た」

<i>Tegnap</i>	<i>10-kor</i>	<i>jö-tt-em</i>	<i>haza</i> ⁵ ,	<i>kicsit</i>	<i>tévé-t</i>
昨日	10-時に	来る-PST-1SG	家へ	少し	テレビ-ACC
<i>néz-t-em,</i>	<i>aztán</i>	<i>le-feküd-t-em.</i>			
見る-PST-1SG.INDEF	その後で	下へ横になる-PST-1SG			

「(私は) 昨日 10 時帰宅して、少しテレビを見て、その後で床についた」

(3) (私は) 昨日階段で転んで、ケガをしてしまった。⁶

⁴ ハンガリー語文法では「副詞分詞 (*határozói igenév*)」という。なお、ハンガリー語は母音調和という現象のため、それぞれの母音のグループ（後舌母音 (u, o, a) / 前舌母音 (i, e) / 円唇母音 (ü, ö)）に応じた異形態を持つ。この副動詞において、後舌母音系には *-va* が、前舌および円唇母音系には *-ve* が付くことを意味する。

⁵ *haza* 「家へ」は動詞接頭辞として、辞書見出しでは *haza-jon* 「家へ来る (=帰宅する)」として動詞の前に置かれる。ハンガリー語の語順規則では動詞の直前の位置にフォーカス要素が置かれるため（この例では *10-kor* 「10 時に」）、動詞接頭辞は動詞直前に留まることが出来ず、このように動詞から分離し、動詞の後ろに移動させられる。

⁶ (1)で用いられた副動詞形式が(2)および(3)でも用いられるかどうかを見るため、*-ván/-vén* 「～して (から)」という完了副動詞（現在では古風とされ、書きことばのみに使用される。Kenesei, et al. (1998: 320-321)を参照。）を使ったものもコンサルタントに確認した：

(i=(2')) *Tegnap 10-kor hazajövén, kicsit tévét nézvén, lefeküdtem.*

(ii=(3')) *Tegnap leesvén a lépcsőn megsérültem.*

コンサルタントによれば、副動詞の意味である同時性「～しながら」がこれにも感じられるとすることで、例えば、(i)は「少しテレビを見つつ、うとうと眠りにおちた」、(ii)は「転びつつ怪我をした」という意味になってしまうとのことであった。先行研究 (Kenesei, et al. (1998: 320))でも言及されているとおり、本来完了副動詞である *-ván/-vén* 「～してから」であることから、上記(i)(ii)のようなものも過去には許容されたことと思われる。以下の(iii)を参照。しかし、現在では、(iv)のように通常の副動詞 *-va/-ve* の同義語のように使われる（すなわち、文体的な問題である）。

(iii)	<i>Az</i>	<i>élet-nek</i>	<i>e</i>	<i>pillanat-á-hoz</i>	<i>érkez-vén,</i>	<i>gondol-j-unk..</i>
	the	人生-DAT	the	瞬間-POSS.3SG-ALL	到着する-PCVB	考える-IMP-1PL

《定形動詞》 *leestem a lépcsőn* 「階段から落ちた (転んだ)」

Tegnap le-es-t-em a lépcső-n és meg-sérül-t-em.
 昨日 下へ落ちる-PST-1SG the 階段-SUP そして 完了怪我をする-PST-1SG
 「(私は) 昨日階段から落ちて、そして怪我をしてしまった」

(4) 今日も父は会社に行き、兄は大学に行った。

《定形動詞》 *dolgozni ment* 「働きに行く」、*egyetemre (ment)* 「大学へ (行く)」

Az apá-m ma is dolgoz-ni men-t,
 the 父-POSS.1SG 今日 ~も 働く-INF 行く-PST.3SG
a báty-ám pedig egyetem-re.
 the 兄-POSS.1SG 一方 大学-SUB
 「私の父は今日も働きに行き、私の兄は一方で大学に (行った)」

(5) (あの人は) 今日は帽子をかぶって歩いていた。

《副動詞》 *kalapot viselve* 「帽子をかぶりながら」

Ma kalap-ot visel-ve jár-t.
 今日 帽子-ACC 身に付ける-CVB 通う-PST.3SG
 「(あの人は/彼 (女) は) 今日は帽子をかぶって歩いていた」

(6) (私は) 休みの日はいつも本を読んだり、テレビを見たりしています。

《習慣表現に伴う不定詞》 *olvasni és tévét nézni szoktam* 「読書したりテレビをよく見る」

Szűnnap-ok-on olvas-ni és tévé-t néz-ni szok-t-am.
 休みの日-PL-SUP 読む-INF そして テレビ-ACC 見る-INF 習慣である-PST-1SG
 「(私は) 休みの日はよく読書したり、テレビを見たりしています」

(7) 時間がないから、急いで行こう。

《順接接続詞》 *úgyhogy* 「だから」

「人生のその瞬間に至ってから、(私たちは) 考えましょう」
 (iv) *Ez-t mond-t-a nek-em az asztalfő-n ül-vén.*
 この-ACC 言う-PST-DEF.3SG DAT-1SG the 机の角-SUP 座る-PCVB
 「彼 (女) は机の角に座りながら私にこう言った」

(Kenesei, et al, 1998: 320-321)

Nincs időnk, úgyhogy sies-s-iink!
 ない 時間-POSS.1PL だから 急ぐ-IMP.1PL
 「(私たちの) 時間がない, だから急ぎましょう！」

(8) 昨日は頭が痛かったので, いつもより早く寝ました.

《順接接続詞》 *úgyhogy* 「だから」

Tegnap fáj-t a fej-em, úgyhogy korábban
 昨日 痛む-PST.3SG the 頭-POSS.1SG だから より早く
men-t-em ágy-ba mint mindig.
 行く-PST.1SG ベッド-ILL ~のように いつも
 「昨日は (私の) 頭が痛かった, だからいつもより早く (私は) 床につきました」

(9) あの人は本を買いに行った.

《不定詞》 *könyvet venni ment* 「本を買いに行く」

Ő men-t könyv-et ven-ni.
 彼 行く-PST.3SG 本-ACC 買う-INF
 「彼は本を買いに行った」

(10) (彼は) 外が良く見えるように窓を開けた.

《命令法=接続用法》 *hogy jobban kilásson* 「よく見えるように (見えるために)」

Ki-nyit-ott-a az ablak-ot, hogy jobban
 外へ開ける-PST.3SG.DEF the 窓-ACC that より良く
ki-lás-s-on.
 外へ見える-IMP.3SG.INDEF
 「(彼は) 良く外が見えるように, 窓を開けた」

ハンガリー語では, 従属節が「~するために」「~するように」といった目的や待望される行為の必要性を表す場合, すなわち, 接続法を表す場合, その従属節の動詞は命令法⁷となる.

(11) ここでは夏になると, よく雨が降ります.

⁷ 命令法では動詞接頭辞が動詞から分離することが原則だが, 接続用法では動詞から分離しないという特徴を持つ. この例 (10)のとおり, *ki-lásson* であり, *lásson ki* とはならない.

《時の表現》 nyáron 「夏に」 ※文頭トピック化で「夏といえば」

Nyár-on itt sokat es-ik az eső.

夏-SUP ここに たくさん 降る-3SG the 雨

「夏はここではたくさん雨が降ります」

(12) 窓を開けると、冷たい風が入って来た。

《時の表現》 amikor kinyitottam az ablakot 「窓を開けた時」

Amikor ki-nyit-ott-am az ablak-ot, hideg szél

～の時 外へ開ける-PST-1SG.DEF the 窓-ACC 冷たい 風

fúj-t be.

吹く-PST.3SG 中へ(動詞接頭辞 be-fúj 「吹き込む」)

「(私が) 窓を開けた時、冷たい風が吹き込んできた」

(13) 坂を上ると、海が見えた。

《定形動詞》 felment a lejtőn 「坂を上った」

Fel-men-t a lejtő-n és lát-t-a a

上へ行く-PST.3SG the 坂-SUP そして 見える-PST-3SG.DEF the

tenger-t.

海-ACC

「(彼(女)が) 坂を上って、そして海が見えた」

(14) 明日雨が降ったら、私はそこに行かない。

《仮定表現》 ha esik holnap az eső 「もし明日雨が降るなら」

Ha es-ik holnap az eső, nem megy-ek oda.

もし 降る-3SG 明日 the 雨 NEG 行く-1SG そこへ

「もし明日雨が降るなら、(私は) そこへ行かない」

このとおり、直説法でも ha 「もし」を使うことで仮定表現を表すことができる。なお、この直説法での《仮定表現》と比べ、以下の例で出てくる《仮定法現在/過去》では描写される出来事の実現可能性が低い。

(15) もっと早く起きればよかったなあ。

《仮定法過去》 jobb lett volna 「よかったなあ」、ha korábban feltem volna fel 「もし早く起きたら」

Jobb le-tt volna, ha korábban kel-t-em
 より良い なる-PST.3SG COND もし より早く 起きる-PST-1SG

volna fel.
 COND 上へ (動詞接頭辞. *fel-kel* 「起床する」)

「もし (私は) 早く起きたら、良かったのになあ」

仮定法過去は [直説法動詞過去形 + *volna*] という形式で表される。 *volna* はコピュラ動詞 *van* 「ある」の仮定法 3 人称単数形⁸であるが、仮定法過去における主語の人称と数は動詞過去形が担うことから (例 (15) では *keltem* 「私は起きた」), *volna* は機能語のような位置づけである。

(16) あんなどころに行かなければよかった。

《仮定法過去》 *jobb lett volna* 「よかった」, *ha nem mentem volna* 「もし行かなかったら」

Jobb le-tt volna, ha nem mentem volna
 より良い なる-PST.3SG COND もし NEG 行く-PST-1SG

⁸ *volna* に加えて、コピュラ動詞 *van* の仮定法 3 人称単数形にはもうひとつ *lenne* がある。こちらは本来 *lesz* 「なる」の仮定法 3 人称単数形で、例 (20) にあるとおり、仮定法現在で使用される。仮定法現在では両者ともほぼ同じ意味・用法で使われるが、厳密には *volna* は現在に、*lenne* は未来に言及すると言われる。以下の例では、従属節 (*ha* 「もし」 ~) が現在に言及する *volnék* (1 人称単数)、主節は未来の出来事に対して *lennék* (1 人称単数) が使われている。

(i) *Ha nem vol-n-ék beteg, ott len-n-ék holnap*
 もし NEG COP-COND-1SG 病気な そこに なる-COND-1SG 明日
az előadás-on.
 the 講演-SUP

「もし私が病気でないならば、明日はその講演にいるでしょう (実際にはいま病気なので明日の講演には行けない可能性が高い)」

しかし、現代ハンガリー語では *lenne* も現在について言及できるため、その違いは殆ど見られない。

(ii) a. „*Ha én felnőttnél vol-n-ék*”
 もし 私 大人 COP-COND-1SG
 『もしわたしがおとなだったら』 (Janikovszky Éva の小説)
 b. „*Szeret-n-ém, ha vadalmafán len-n-ék!*”
 好きである-COND-1SG.DEF もし 野生のリンゴの木 なる-COND-1SG
 『もし野生のリンゴの木であれば、そうありがたい』 (József Attila の詩)

しかし、例 (15), (16) で示される《仮定法過去》の用法で使用されるものは必ず *volna* が使われる (*lenne* ではない)。

volna ar-ra a hely-re.
COND あの-SUB the 場所-SUB

「もし (私は) あの場所へ行かなかったら, 良かったのになあ」

叙述文 (A は B である) における仮定法過去は *lett* (*lesz* 「なる」 の過去形 3 人称単数形) の後に *volna* を置くことで表す⁹。

(17) 1 に 1 を足せば, 2 になる.

《直説法, 叙述表現》 *egy meg egy, az kettő.* 「1 足す 1, それは 2」

Egy meg egy, az kettő.
1 と 1 それは 2

「1 足す 1, それは 2」

(18) 駅に着いたら電話をしてください.

《仮定表現》 *ha megérkezik a pályaudvára,* 「もし (あなたが) 駅に到着するなら」

Ha meg-érkez-ik a pályaudvar-ra,
もし 完了-到着する-3SG¹⁰ the ターミナル駅-SUB

hív-j-on fel.
呼ぶ-IMP-3SG.INDEF 上へ (動詞接頭辞: *fel-hív* 「電話する」)

「もし (あなたが) 駅に到着するなら, 電話してください」

(19) 日曜日になったら, みんなで公園に行きたいなあ.

《時の表現》 *vasárnap* 「日曜日に」 ※文頭トピック化で「日曜といえば」

Vasárnap mindenki-vel együtt a park-ba szeret-n-ék
日曜日に みんな-INS 一緒に the 公園-ILL 好きである-COND-1SG

men-ni.
行く-INF

「日曜日はみんなで一緒に公園へ (私は) 行きたいなあ」

⁹ *van* の過去 3 人称単数形の *volt* を使って, “*volt volna*” とは言うことは現在では一般的ではない (過去には存在したもので古風な感じがするという)。

¹⁰ 「あなた (*ön*)」や「あなたがた (*önök*)」, すなわち, 敬称 2 人称は, ハンガリー語の動詞活用では 3 人称として扱われる。

(20) 明日雨が降ったら困るなあ。

《仮定法現在》 *nem lenne jó* 「良くないだろう」, *ha holnap esne az eső* 「もし明日雨が降れば」

<i>Nem</i>	<i>len-n-e</i>	<i>jó,</i>	<i>ha</i>	<i>holnap</i>	<i>es-n-e</i>
NEG	なる-COND-3SG	良い	もし	明日	降る-COND-3SG
<i>az</i>	<i>eső.</i>				
the	雨				

「もし明日雨が降れば、良くないだろう」

(21) 家に来るなら、電話をしてから来てください。

《仮定法現在》 *ha jönne hozzám* 「もし私のところ (=家) に来るなら」 ※*előtte* 「その前に」

<i>Ha</i>	<i>jön-n-e</i>	<i>hozzá-m,</i>	<i>előtt-e</i>
もし	来る-COND-3SG	～のところへ-1SG	～の前に-3SG
<i>hív-j-on</i>	<i>fel.</i>		

呼ぶ-IMP-3SG.INDEF 上へ (動詞接頭辞 *fel-hív* 「電話する」)

「もし (あなたは) 私のところへ来るなら、その前に電話してください」

(22) [もうすぐベルが鳴るので] 鳴ったら、教えてください。

《仮定表現》 *ha csengetnek* 「もし鳴れば」

<i>(Mindjárt csenget-nek.)</i>	<i>Ha</i>	<i>csenget-nek,</i>	<i>szól-j-on.</i>
すぐに 鳴る-3PL	もし	鳴る-3PL	言う-IMP-3SG.INDEF

「(すぐに (電話が) 鳴る) もし (電話が) 鳴れば、(あなたは) 言ってください」

(23) [もしかしたらベルが鳴るかもしれないので] もし鳴ったら、教えてください。

《仮定表現》 *ha csengetnek* 「もし鳴れば」

<i>(Talán csenget-nek.)</i>	<i>Ha</i>	<i>csenget-nek,</i>	<i>szól-j-on.</i>
たぶん 鳴る-3PL	もし	鳴る-3PL	言う-IMP-3SG.INDEF

「(たぶん (電話が) 鳴る) もし (電話が) 鳴れば、(あなたは) 言ってください」

(24) 働かざるもの食うべからず。 / 働かない者は、食べるべきではない。

《関係代名詞》「働かないものは、食べるべきではない」

<i>Aki</i>	<i>nem</i>	<i>dolgoz-ik,</i>	<i>ne</i>	<i>is</i>	<i>e-gy-ék.</i>
REL	NEG	働く-3SG	NEG	～も	食べる-IMP-3SG.INDEF

「働かない者は、食べるべきではない」

(25) もう少しお金があったらなあ。

《希求法》 *bárcsak* + 仮定法 「～であればなあ！」

<i>Bárcsak</i>	<i>még</i>	<i>több</i>	<i>pénz-em</i>	<i>len-n-e!</i>
～であればなあ	まだ	より多く	お金-POSS.1SG	なる-COND-3SG

「(私に) もっと多くのお金があればなあ！」

(26) これも食べたら？

《仮定法現在》 *megennéd* 「食べてしまえば」

<i>Meg-en-n-éd</i>	<i>még</i>	<i>ez-t</i>	<i>is?</i>
完了-食べる-COND-2SG.DEF	まだ	これ-ACC	～も

「もっとこれも食べてしまえば？」

(27) やりたいなら (自分の) 好きなようににやれば？

《命令法》 *úgy csináld* 「君が～するようににやさい」

<i>Ha</i>	<i>szeret-n-éd</i>	<i>csinál-ni, úgy</i>	<i>csinál-d,</i>
もし	好きである-COND-2SG.DEF	する-INF あのように	する-IMP.2SG.DEF

<i>ahogy te akar-od.</i>
～のように 君が 欲する-2SG.DEF

「もし (それが) したいのであれば、君が欲するように、(それを) しまさい」

(28) このコップは落としても割れない。

《仮定表現》 *ha leesik* 「もし落ちてても」

<i>Ez</i>	<i>az</i>	<i>üveg,</i>	<i>ha</i>	<i>le-es-ik,</i>	<i>sem</i>	<i>tör-ik</i>
この	the	コップ	もし	下へ落ちる-3SG	NEG	壊れる-3SG

össze.

一緒に (動詞接頭辞. *össze-török* 「割れる」)

「このコップは、もし落ちてても、割れない」

(29) このリンゴは高かったのに、ちっとも甘くない。

《対比》 *ez az alma drága volt, pedig...* 「このリンゴは高かったが、一方で～」

<i>Ez</i>	<i>az</i>	<i>alma</i>	<i>drága</i>	<i>vol-t,</i>	<i>pedig</i>	<i>még</i>
この	the	りんご	高い	COP-PST.3SG	一方	まだ
<i>nem</i>	<i>is</i>	<i>édes.</i>				
NEG	～も	甘い				

「このリンゴは高かったが、一方でちっとも甘くない」

(30) 彼の家に行ってみたけれども、彼はいなかった。

《逆接》 *elementem hozzá, de*… 「(私は) 彼のところへ出かけたが、しかし～」

<i>El-men-t-em</i>	<i>hozz-á,</i>	<i>de</i>	<i>nem</i>	<i>vol-t</i>
離れて行く-PST.1SG	～のところへ3SG	しかし	NEG	COP-PST.3SG
<i>otthon.</i>				
うちに				

「(私は) 彼のところへ出かけたが、しかし (彼は) うちにいなかった」

(31) あの人に来るまで、私はここで待っています。

《期限》 *(addig)～, amíg*… 「…するまで、～する」

<i>Itt</i>	<i>vár-ok,</i>	<i>amíg</i>	<i>jön.</i>
ここに	待つ-1SG.INDEF	～するまで	来る.3SG

「(彼が) 来るまで、(私は) ここで待っています」

(32) あの人に来るまでに、食事を作っておきますよ。

《期限》 *(addig)～, amíg*… 「…するまで、～する」

<i>Meg-főz-ök,</i>	<i>amíg</i>	<i>jön.</i>
完了-料理する-1SG-INDEF	～するまで	来る.3SG

「(彼が) 来るまで、(私は) 料理を作っておきます」

参考文献

Kenesei, István, Robert M. Vago, and Anna Fenyvesi. (1998) *Hungarian: Descriptive Grammars*, Routledge.